

令和2年度第1回 鳴門市児童福祉審議会 会議概要

日時 令和3年3月18日(木) 19時00分～

場所 うずしお会館2階 第2会議室

出席者 委員15名、関係課・事務局職員13名

欠席者 委員2名

傍聴者 なし

概要

1 開会

2 会長あいさつ

3 委員自己紹介

4 議事

(1) 鳴門市子ども・子育て支援事業計画 令和元年度実績報告について

鳴門市子ども・子育て支援事業計画に掲載している各事業の令和元年度実績について、事務局より報告しました。

(会長)

なぜ子どもの数が減っていると思うか。鳴門市だけか、近県等も同様なのか。

(事務局)

少子化自体は、全国的な話。昨年度第2期の計画を立てた際にも同様に人口推計を出したのだが、やはり年々減ってきているという状況が、本市でも続いている。原因は複合的に重なり合っていると思うが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、妊婦健診の数もかなり減っていると思う。妊婦の数が減ると自動的に生まれる子どもの数も減るということで、今年既に減っているのだが、この影響が令和3年度にも出て、また子どもの数が減るであろうということは、容易に予測される。

本計画はこの減少をどうにか食い止めるための一連の計画であり、鳴門市で子どもを産み育てやすい環境づくりを推進していくため、皆様のお知恵を借りながら頑張っていきたいと考えている。

(2) 第2期鳴門市子ども・子育て支援事業計画に関わる変更について

第2期鳴門市子ども・子育て支援事業計画に関わる変更について、事務局より説明を行いました。

①令和3年度保育施設の定員変更について ②公立保育所について ③公立幼稚園の再編について

(委員)

公立幼稚園の通園区を、現在の小学校単位から市内全域に変更するとのことだが、こういった意図があつてのものなのか。

(事務局)

公立幼稚園の閉園に合わせて、家庭の事情によって希望する園に行けるように、という意図があつてのものである。現在、既に認定こども園など民間の施設では市内全域であるため、公立幼稚園もそれに合わせた形となる。ただ、令和3年度の入園申込みの希望をみると、やはり

自宅近くの園を選んでいる方が多いように見える。

(委員)

令和4年度に幼稚園4園が閉園されるとのことだが、小学校はそのまま存続するのか。

(事務局)

その通りである。幼稚園と小学校では再編の考え方が異なるため、今回は幼稚園の再編のみを行う。

(委員)

すると、幼稚園はどの幼稚園でも通園できるようになるが、小学校はそうではないため、また地元の小学校に帰ることになるということか。

(事務局)

その通りである。小学校については現在の通学区域が適用される。

(委員)

幼稚園でせっかく友達ができたとしても、小学校は地元ということで、また友達関係が一からのスタートになるという点が、少々気にかかる。

(委員)

再編により、遠くの幼稚園に通うことになってしまう方の通園方法については、どのように考えているのか。

(事務局)

通園方法については、現在、幼稚園については保護者による送迎を基本としており、車での送迎と考えている。再編後には色々と想定しない課題が浮かび上がってくることもあるとは考えているため、市としてできることは今後行っていきたいと考えている。

(委員)

学校がなくなると、地域では、学校がないのは寂しいという声が必ずきかれる。地域の声は、大切にしていきたい。

(会長)

一度閉園すると、復活することはほぼない状況であるため、できるなら残してもらいたい気持ちはわかる。全国的に子どもの数が減っている状況だが、減っていない地域もあるようである。鳴門市は努力をしているとは思いますが、それでもなぜ鳴門市で子どもを育てようとしなのか、なぜ育てたい気持ちにならないのかという視点も、必要なのかなと思う。いい施設や構想などがあっても、やはり最後は人間関係に行きつくと思う。物理的なものでなく、人間的な。

私は長年鳴門に住んでいるが、講演会などにお父さんが参加されている姿もよく見るし、鳴門市は子育てに積極的なまちだと思っている。ぜひ頑張っていたきたい。

(3) 保育施設利用児童数について

保育施設利用児童数について、事務局より説明を行いました。

<意見・質問なし>

(4) その他

今後のスケジュールについて、事務局から説明を行いました。 ※次年度は、第1回目の会議を夏頃に開催予定

5 閉会